

授業科目	管理栄養士演習 I (B クラス)				単位	2		
履 修	選択	関連資格	管理栄養士		ナンバリング	NT32704J		
開講年次	4	開講時期	通年	該当DP	DP1-2 DP2-1			
担当教員	天本 理恵、藤和 太、南里 宏樹、尾上 均、山田 志麻、船越 淳子、高崎 智子、木村 宏和							
授業概要	<p>管理栄養士養成科目のうち基礎系科目を統合的に理解し、国家資格取得に必要な十分な知識を養うために次のような授業を行う。</p> <p>1. 管理栄養士国家試験教科の各分野の出題傾向とポイントを解説する。</p> <p>2. 国家試験の出題問題を中心に、各教科ごとの問題をテストし、解答と解説を行う。</p> <p>3. 授業はオムニバス形式とする。</p>							
学生が達成すべき行動目標	管理栄養士国家試験教科『社会・環境と健康』『人体の構造と機能及び疾病の成り立ち』『食べ物と健康』『基礎栄養学』の分野の出題傾向と重要点を説明できる。							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)	70						70	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)	30						30	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
管理栄養士国家試験教科『社会・環境と健康』『人体の構造と機能及び疾病の成り立ち』『食べ物と健康』『基礎栄養学』の分野の出題傾向と重要点を説明でき、国家試験において、『80%』の正解率を出せる能力を有する。				管理栄養士国家試験教科『社会・環境と健康』『人体の構造と機能及び疾病の成り立ち』『食べ物と健康』『基礎栄養学』の分野の出題傾向と重要点を説明でき、国家試験において、『60%』の正解率を出せる能力を有する。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)
1	テーマ:前半のオリエンテーション(天本理恵)①管理栄養士国家試験における午前中の部の出題傾向とポ			講義・演習		予習:テーマの予習をし、まとめる。		予習:30 復習:60

	イントを解説する。第 37 回国家試験「応用栄養学」分野の出題傾向とポイントを解説する。		復習: 演習で解いた問題を整理し、理解する。	
2	テーマ: 応用栄養学(天本理恵)②第 36 回国家試験「応用栄養学」分野の出題傾向とポイントを解説する。	講義・演習	予習: テーマの予習をし、まとめる。 復習: 演習で解いた問題を整理し、理解する。	予習: 30 復習: 60
3	テーマ: 食品学(船越淳子)①第 37 回国家試験「食品学」分野の出題傾向とポイントを解説する。	講義・演習	予習: テーマの予習をし、まとめる。 復習: 演習で解いた問題を整理し、理解する。	予習: 30 復習: 60
4	テーマ: 食品学(船越淳子)②第 36 回国家試験「食品学」分野の出題傾向とポイントを解説する。	講義・演習	予習: テーマの予習をし、まとめる。 復習: 演習で解いた問題を整理し、理解する。	予習: 30 復習: 60
5	テーマ: 公衆衛生学(藤和太)①第 37 回国家試験「公衆衛生学」分野の出題傾向とポイントを解説する。	講義・演習	予習: テーマの予習をし、まとめる。 復習: 演習で解いた問題を整理し、理解する。	予習: 30 復習: 60
6	テーマ: 公衆衛生学(藤和太)②第 36 回国家試験「公衆衛生学」分野の出題傾向とポイントを解説する。	講義・演習	予習: テーマの予習をし、まとめる。 復習: 演習で解いた問題を整理し、理解する。	予習: 30 復習: 60
7	テーマ: 調理学(山田志麻)①第 37、36 回国家試験「調理学」分野の出題傾向とポイントを解説する。	講義・演習	予習: テーマの予習をし、まとめる。 復習: 演習で解いた問題を整理し、理解する。	予習: 30 復習: 60
8	テーマ: 生化学(尾上均)①第 37 回国家試験「生化学」分野の出題傾向とポイントを解説する。	講義・演習	予習: テーマの予習をし、まとめる。 復習: 演習で解いた問題を整理し、理解する。	予習: 30 復習: 60
9	テーマ: 生化学(尾上均)②第 36 回国家試験「生化学」分野の出題傾向とポイントを解説する。	講義・演習	予習: テーマの予習をし、まとめる。 復習: 演習で解いた問題を整理し、理解する。	予習: 30 復習: 60
10	テーマ: 疾病学、解剖生理学(高崎智子)①第 37 回国家試験「疾病学、解剖生理学」分野の出題傾向とポイントを解説する。	講義・演習	予習: テーマの予習をし、まとめる。 復習: 演習で解いた問題を整理し、理解する。	予習: 30 復習: 60
11	テーマ: 疾病学、解剖生理学(高崎智子)②第 36 回国家試験「疾病学、解剖生理学」分野の出題傾向とポイントを解説する。	講義・演習	予習: テーマの予習をし、まとめる。 復習: 演習で解いた問題を整理し、理解する。	予習: 30 復習: 60
12	テーマ: 基礎栄養学(南里宏樹)①第 37 回国家試験「基礎栄養学」分野の出題傾向とポイントを解説する。	講義・演習	予習: テーマの予習をし、まとめる。 復習: 演習で解いた問題を整理し、理解する。	予習: 30 復習: 60
13	テーマ: 基礎栄養学(南里宏樹)②第 36 回国家試験「基礎栄養学」分野の出題傾向とポイントを解説する。	講義・演習	予習: テーマの予習をし、まとめる。 復習: 演習で解いた問題を整理し、理解する。	予習: 30 復習: 60
14	テーマ: 食品衛生学(木村宏和)①第 37 回国家試験「食品衛生学」分野の出題傾向とポイントを解説する。	講義・演習	予習: テーマの予習をし、まとめる。 復習: 演習で解いた問題を整理し、理解する。	予習: 30 復習: 60

15	テーマ:食品衛生学(木村宏和)②第 36 回国家試験「食品衛生学」分野の出題傾向とポイントを解説する。	講義・演習	予習:テーマの予習をし、まとめる。 復習:演習で解いた問題を整理し、理解する。	予習: 30 復習:60
16	テーマ:後半のオリエンテーション(天本理恵)③後期における学習の留意点、および、理想的な学習方法を解説する。第 35 回国家試験「応用栄養学」分野の出題傾向とポイントを解説する。	講義・演習	予習:テーマの予習をし、まとめる。 復習:演習で解いた問題を整理し、理解する。	予習: 30 復習:60
17	テーマ:応用栄養学(天本理恵)④第 34 回国家試験「応用栄養学」分野の出題傾向とポイントを解説する。	講義・演習	予習:テーマの予習をし、まとめる。 復習:演習で解いた問題を整理し、理解する。	予習: 30 復習:60
18	テーマ:食品学(船越淳子)③第 35 回国家試験「食品学」分野の出題傾向とポイントを解説する。	講義・演習	予習:テーマの予習をし、まとめる。 復習:演習で解いた問題を整理し、理解する。	予習: 30 復習:60
19	テーマ:食品学(船越淳子)④第 34 回国家試験「食品学」分野の出題傾向とポイントを解説する。	講義・演習	予習:テーマの予習をし、まとめる。 復習:演習で解いた問題を整理し、理解する。	予習: 30 復習:60
20	テーマ:公衆衛生学(藤和太)③第 35 回国家試験「公衆衛生学」分野の出題傾向とポイントを解説する。	講義・演習	予習:テーマの予習をし、まとめる。 復習:演習で解いた問題を整理し、理解する。	予習: 30 復習:60
21	テーマ:公衆衛生学(藤和太)④第 34 回国家試験「公衆衛生学」分野の出題傾向とポイントを解説する。	講義・演習	予習:テーマの予習をし、まとめる。 復習:演習で解いた問題を整理し、理解する。	予習: 30 復習:60
22	テーマ:調理学(山田志麻)②第 35、34 回国家試験「調理学」分野の出題傾向とポイントを解説する。	講義・演習	予習:テーマの予習をし、まとめる。 復習:演習で解いた問題を整理し、理解する。	予習: 30 復習:60
23	テーマ:生化学(尾上均)③第 35 回国家試験「生化学」分野の出題傾向とポイントを解説する。	講義・演習	予習:テーマの予習をし、まとめる。 復習:演習で解いた問題を整理し、理解する。	予習: 30 復習:60
24	テーマ:生化学(尾上均)④第 34 回国家試験「生化学」分野の出題傾向とポイントを解説する。	講義・演習	予習:テーマの予習をし、まとめる。 復習:演習で解いた問題を整理し、理解する。	予習: 30 復習:60
25	テーマ:疾病学、解剖生理学(高崎智子)③第 35 回国家試験「疾病学、解剖生理学」分野の出題傾向とポイントを解説する。	講義・演習	予習:テーマの予習をし、まとめる。 復習:演習で解いた問題を整理し、理解する。	予習: 30 復習:60
26	テーマ:疾病学、解剖生理学(高崎智子)④第 34 回国家試験「疾病学、解剖生理学」分野の出題傾向とポイントを解説する。	講義・演習	予習:テーマの予習をし、まとめる。 復習:演習で解いた問題を整理し、理解する。	予習: 30 復習:60
27	テーマ:基礎栄養学(南里宏樹)③第 35 回国家試験「基礎栄養学」分野の出題傾向とポイントを解説する。	講義・演習	予習:テーマの予習をし、まとめる。 復習:演習で解いた問題を整理し、理解する。	予習: 30 復習:60
28	テーマ:基礎栄養学(南里宏樹)④第 34 回国家試験「基礎栄養学」分野の出題傾向とポイントを解説する。	講義・演習	予習:テーマの予習をし、まとめる。	予習: 30 復習:60

			復習:演習で解いた問題を整理し、理解する。	
29	テーマ:食品衛生学(木村宏和)③第 35 回国家試験「食品衛生学」分野の出題傾向とポイントを解説する。	講義・演習	予習:テーマの予習をし、まとめる。 復習:演習で解いた問題を整理し、理解する。	予習: 30 復習:60
30	テーマ:食品衛生学(木村宏和)④第 34 回国家試験「食品衛生学」分野の出題傾向とポイントを解説する。	講義・演習	予習:テーマの予習をし、まとめる。 復習:演習で解いた問題を整理し、理解する。	予習: 30 復習:60
理解に必要な予備知識や技能	『公衆衛生学』『栄養疫学』『健康管理概論』『解剖生理学』『応用生理学』『生化学 I・II』『病理基礎医学』『疾病診断治療学 I・II』『基礎栄養学 I・II』『食品衛生学』『加工食品機能論』『調理学』『食品学 I・II』『応用栄養学 I・II』を基にして、授業内容を組んでいるので、あらかじめ、それらの科目で学修した内容を復習しておく必要がある。			
テキスト	1. 各科目の教科書 2. 「レビューブック 管理栄養士」(株式会社メディックメディア)			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	1. 図書館に配架している各出版社の国家試験問題集、傾向と対策、全科の要点等 ・「管理栄養士国家試験過去問解説集」(花伝社) ・「管理栄養士国家試験受験必修過去問集」(女子栄養大学出版部) 2. 必要に応じてプリント等配付する。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	1. 関連する国家試験の過去問題を学習しておくことが必要である。 2. 雑誌、インターネット等で法改正に関する情報や最新の科学情報を検索し、学習することが勧められる。 3. 30 コマという限られた本科目の授業時間数では、管理栄養士の国家試験に対応することは困難であるので、担当教員全員が年間を通じて担当分野の補講を行う。補講の出席は義務ではないものの、本科目の中間試験および定期試験、ひいては、国家試験に合格するためには必須と考えて出席して頂きたい。			
達成度評価に関するコメント/課題に対するフィードバックの方法	前学期は中間試験を実施する。中間試験に合格することを後学期の定期試験の受験要件とする。試験の詳細に関しては講義の中で説明する。			